



ゆうすい

ふれあいネットワーク

# ボランティアセンターだより

●編集・発行／社会福祉法人 湧水町社会福祉協議会 ボランティアセンター  
TEL75-2200 FAX75-2756

令和2年11月1日発行



# 夏の体験活動

## (工作活動とボランティア体験)

8月26日、湧水町シルバーケアセンターにおいて、鹿児島県社会福祉協議会と湧水町社会福祉協議会が主催で夏の体験活動（工作活動とボランティア体験）を実施しました。この活動は、工作活動を通して児童・生徒の交流を図り、お年寄りや身体に障害を持った人々に対する理解と共感を深め、共に支え合って生きようとする思いやりの心を育むことを目的に実施し、小学1年生から中学生まで34名の参加がありました。

工作活動では、轟地区の老谷浩二さんにブーメラン、二連射ゴム鉄砲、水鉄砲等の作り方を指導して頂き、参加者は熱心に作っていました。出来上がったブーメランの投げ方も教えて頂き、子どもたちはとても楽しんでいました。終わりには、自分たちの手形を切り抜いたキーホルダーもプレゼントされるなど、自分で作ったおもちゃで遊ぶ機会がない中、今日の体験は大変貴重なものになったのではないでしょか。

昼食では、災害時のための非常炊き出し実習を行い、非常食のご飯とバーベキューをして食べました。みんなで食べる昼食はとても美味しかったようです。

午後からは、車いすとアイマスク体験を行いましたが、初めて体験する児童も多くみられました。体験活動を通して、有意義な時間を過ごせたようです。

### 夏の体験活動に参加して



(上場小学校4年  
竹野 まほろ)

アイマスクで目をかくして歩くと、前がなにも見えなくてどこを歩いているのか分かりませんでした。だけど、友だちが声をかけてくれたのでこわくありませんでした。ブーメランを作るのがむずかしかったけれど、先生におしえてもらつたのでしつかり作れました。また「夏の体けんかつどう」にさんかしたいなと思いました。

今日は、ボランティア体験でいろいろなことをしま

(栗野小学校5年  
仮屋 寧音)

いつもやっているやり方とちがつて、こんなやり方をするんだなあと思いました。工作活動をしたとき、いろんな部品をはつたり、ペンで絵をかいたりして楽しめたです。バーベキューで作つたごはんとお肉を食べておいしかつたです。車いす体験をしたとき、ペアの人が声をかけてくれたからこわくなかったです。アイマスク体験をしたとき、まわりがぜんぜん見えなかつたからこわかつたです。

(吉松小学校4年  
竹ノ上 心優)

だけど、ペアの人が声をかけてくれたり、ゆつくりひつぱつてくれたので、ぜんぜんこわくなかったです。だから、わたしが車いすをおしたり、目が見えない人をつれていつたりするときは、声をかけて相手がこわくならないようにしたいです。



## ボランティアセンターだより



夏の体験活動楽しかったです。その中で一番楽しかったことは焼き出しと車いす、アイマスク体験です。焼き出しで思ったことは、さいがいのときこまつたとき、すいはんきがなくても、かんたんにごはんがたけるんだなと思いました。車いす体験して思ったことは、一しゅう回って、石や土が多いところがあつて、がたがたしていたので、車いすの人を見つけたら、石とか土とかないように気を付けて石とか土とかあつたらそこにありますよと言いたいです。

(栗野小学校5年  
花牟禮 優)

夏の体験活動で一番心にのこったことは、車いす、アイマスク体験です。車いすでは、すすむときや止まるときに、一言言つてからすることが分かりました。アイマスクでは、目のみえない人は、こんなにこわいことが分かりました。今日体験して学んだことを、もし目のみえない人や車いすをおすときにはかしたいと思います。ごはんをたくの



(栗野中学校1年  
正竹 瑞愛)

夏の体験活動で一番心にのこったことは、車いす、アイマスク体験です。車いすでは、すすむときや止まるときに、一言言つてからすることが分かりました。アイマスクでは、目のみえない人は、こんなにこわいことが分かりました。今日体験して学んだことを、もし目のみえない人や車いすをおすときにはかしたいと思います。ごはんをたくの

も、とても勉強になりました。将来の夢が看護師さんなので、今日体験したこと

をいかせたらいいと思いま

す。お昼ごはんのBBQもとてもおいしかったです。

とてもおなかいっぱいになりました。夏休み最高な思

い出になりました。来年もボランティア活動に参加し

たいと思います。今日は、いい体験をすることができ

たのでよかったです。

かつた。  
(吉松中学校1年  
岩下 明香里)

岩下 明香里



今日の「夏の体験活動」を通して、たくさんの経験をすることができました。ご飯をすいはんきでは炊いたことはあつたけど、非常用のご飯は作ったことができたので、作り方が分かったので、作り方が分かつてよかったです。ブーメラン作りは、やすりでとにかくけずつていくのが大変でした。けれど、とてもとんだし、きれいに作れたのでよかったです。お昼ご飯はBBQだったので、といふのあつかい方は、何回かしたことがあるのに、まだかんぺきにできなかつた。アイマスク体験では、目が不自由な人の大変さがわかつた。体験したのは、知っている場所だつたから、あまりこわくなかったけど、知らない場所でならこわいわかった。アイマスク体験も、コミュニケーションをとって相手を安心させなければならなかつたのでむずかしかつたです。アイマスク体験をするときには、今日のことをいかしてやつていきたいです。

(栗野中学校2年  
植村 心美)

かつた。



# 介護体験学習（栗野中学校）



9月29日、福祉に対する認識を深めるとともに、実際の介護に必要な知識や技能の習得を目指すこと、また相手の立場に立ってものごとを考えたり行動することを目的に、栗野中学校1年生49名が、介護体験学習を行いました。最初は戸惑っている生徒もいましたが、車いすやアイマスク体験を通して、普段接することが少ない高齢者や障がいの方々の不便さを感じたり、どのように声掛けをしたらいいのかなど、学習できたと思います。毎年、1年生の皆さんのが、福祉施設で体験学習するため事前学習として訪問前日に行っていましたが、今年は新型コロナウィルス感染症の影響で、施設訪問できなくなりましたが、今回の学習は貴重な体験になったのではないでしょうか。



## 上場小学校リサイクル活動

9月17日、上場小学校の児童達が、特別養護老人ホーム「グリーン光芳」へリサイクルの収益で購入した、施設で使いやすい介護型の車いす1台を寄贈されました。小学校では、資源の大切さを学び地域貢献することを目的に2007年から活動が始まり、今回で4回目になるようです。3回目までは、缶のプルタブを中心に回収していましたが、今回は3年かけて段ボールや古紙、ペットボトル等を地域住民のご協力を頂きながらリサイクル活動に取り組まれたようです。全校生徒14名の素敵なメッセージと一緒に特別養護老人ホームの職員の方に手渡され、大変喜んでいらっしゃいました。



# ボランティアポイントをもらおう！

ボランティア活動をしてくれた小・中・高校生に「ボランティアポイントカード」を配布しています。地域活動に参加してポイントを貯めませんか？

## 《児童・生徒のふれあいボランティア活動事業とは》

この事業は、次代を担う子ども達にボランティア活動を始める「きっかけづくり」と活動を継続させるための「定着」「やりがい」など福祉の心を育みながら、心豊かな地域づくりにつなげることを目的としています。

ボランティア活動をしている人や、これからボランティア活動を始める人に“ボランティアカード”を配付し、活動に応じてポイントを発行（カードへスタンプを押印）をするというものです。

## 《対象となる方》

湧水町内の小学生・中学生・高校生

## 《対象となる活動》

学校外における地域社会や個人・団体の社会貢献につながるボランティア活動

例えば・・・

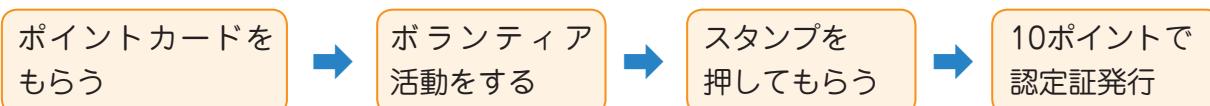
施設等訪問、地域交流、地域内清掃（河川清掃・海岸清掃）、  
収集、募金、自然・環境、緑化活動、文化継承（練習は除く）、  
郷土芸能伝承（練習は除く）、行事参加、災害ボランティア活動、  
社協ボランティア講座など

☆学校管理下の活動や発表の練習などは除きます。



## 《ポイントカードの利用方法》

### （1）全体の流れ



### （2）ポイント発行

スタンプは、下記により押印します。

☆湧水町社会福祉協議会 ☆学校 ☆各公民館

### （3）ポイント換算方法

☆活動内容につき1ポイントとしてスタンプを押します。（1回30分以上）

☆原則として1日1ポイントとします。

### （4）10ポイントがたまつたら、カードを社会福祉協議会へお持ちください。

（カードを無くしたときは、学校又は社会福祉協議会で再発行できます）

### （5）ボランティア認定証を交付します。（学校にて交付）

※これまで、10ポイント認定証を小学生19名、中学生18名、20ポイント認定証を小学生4名、中学生2名に交付しました！ 詳しくは、社会福祉協議会までご連絡下さい。

# ファミリーサポートセンター提供会員養成講座及び 幼児救急法講習会

令和2年8月19日に、日本赤十字社より講師の方をお招きし、子どもに起きやすい事故と予防・手当についてご講義を頂きました。AEDの使い方、誤飲や熱中症を未然に防ぐための子どもの様子観察と対応などをわかりやすく、丁寧に教えて頂きました。参加された受講者



のみなさんは熱心に講義に耳を傾けられ、質問の時間も次から次に手が挙がりました。普段の生活の中でのヒヤリとした事例などを踏まえながらの回答を頂き、充実した講座になったのではないかと思います。今後も地域の中で、お互いに安心・安全に活動ができるよう、養成講座の推進を図っていきたいと思います。



## ファミリーサポートセンターとは・・・

子育て中の・・・ こまった

子育て中の・・・ たいへん

子育て中の・・・ たすけて



あなたの子育て  
応援させてください



このような時に、身近にだれかの助けがあれば“こころ”にゆとりを持て、安心して子育てができると思います。ファミリーサポートセンターゆうすいでは育児の援助を受けたい方（依頼会員）と援助を行いたい方（提供会員）がセンターの会員となり、地域の中で、お互いに育児を支え合う活動を行う会員組織です。思いやりのある、子育てしやすい町づくりのために、みなさんのご協力をお願いいたします。



まかせて！  
私がいけますよ！

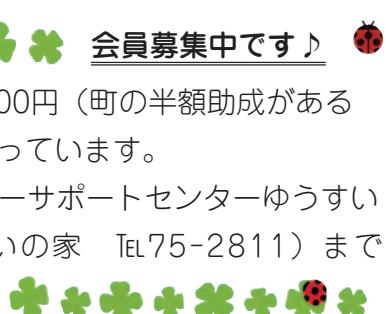
急な仕事で  
迎えに行けない



会員募集中です♪

※利用料は、30分300円（町の半額助成があるため150円）となっています。

詳しくはファミリーサポートセンターゆうすい（よしまつふれあいの家 TEL75-2811）までご連絡ください。



# 子ども寄り添いボランティア養成講座



社会福祉協議会では、今年度、子どもに関する様々な社会的課題の中で、学習支援や居場所づくり等地域協議会よりモデル地区と指定され、「子どもイキイキ地域つながりプロジェクト事業」を実施しています。現在、よしまつふれいの家で「子どもの学習支援・生活支援事業」に取り組んでおり、今回、子どもたちの学習支援や居場所づくり等、子どもに寄り添うボランティア活動に関心のある方を対象に、基礎的な理解を深めることを目的として、

9月24日いきいきセンターくりの郷で「子ども寄り添いボランティア養成講座」を開催しました。

講義では、NPO法人ルネスかごしま理事長 谷川勝彦氏による「子どもの寄り添う活動について」子どもの学習支援や居場所づくりについて、姶良市在住の社会福祉士 中村紫穂氏による「子どもの居場所づくりの必要性について」悩みを抱える子どもの親として考えること」をお話して頂きました。また、社会福祉協議会での学習支援についても実践報告をしました。



ご講義頂いたお二人は、学校に行きたくても行けない児童・生徒や人のコミュニケーションを抱えていらっしゃる方々に寄り添い、居場所づくりや自立支援、就労支援活動をされたり、個性を大事にした居場所づくりとして「子ども食堂」を運営されていらっしゃる等、活発に活動をされており参加者の方々も素晴らしいお話をお聞きすることが出来たのではないかでしょうか。



## 《寄贈》

湧水町老人クラブ吉松地区女性部から、タオルを寄贈して頂きました。シルバーケアセンターで、有効に活用させて頂きます。ありがとうございました。



## 赤い羽根共同募金運動実施中

今年も10月1日から12月31日まで全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が始まりました。この運動は、第2次世界大戦後に「国民たすけあい運動」として始まり、生活に困った人たちを共済しようと、昭和22（1947）年からスタートしたものです。時代のニーズに合わせ、その使い道も変遷してきました。

現在では、様々な地域の課題解決に取り組む民間団体を支援する「じぶんの町をよくするしくみ」として、地域の福祉活動を支援しています。

湧水町社会福祉協議会でも、より良い地域づくりのために、様々な事業に取り組んで参りますので、皆様のご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

※皆様から頂いた募金は、鹿児島県共同募金会へ送金し、翌年、福祉活動資金として配分され、各市町で配分金として地域福祉資金に使われます。湧水町では、下記の事業を実施しています。

- 独居老人誕生日訪問事業 ○おせち料理配付事業 ○洗濯乾燥消毒サービス事業
- 男性料理教室 ○地域ふれあい食堂 ○社会福祉大会
- 地域福祉部助成金 ○ボランティア協力校（小・中学校）助成金
- 各種団体助成金 ○ボランティア活動事業 ○ひとり金婚者の集い



# 全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償 ボランティア活動保険



## 保険金額・年間保険料 (1名あたり)

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金	65,000円	
	外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○
賠償責任の補償	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

商品パンフレットは  
コチラ



( ふくしの保険 )  
ホームページ

団体割引 20%適用済／過去の損害率による割増引適用

## ＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

## ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

### 送迎サービス補償 (傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

### 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、

2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

営業時間: 平日の 9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一緒に締結する団体契約です。